

・神戸新聞社の人に来てもらって神戸新聞の過去の記事や新聞がどのように作られているかなど神戸新聞の詳しい内容をたくさん知れてとてもいい勉強になりました。これからは機会があれば、神戸新聞を読んでみたり教わった新聞でスリッパを作るのも家でやってみたいなと思います。神戸新聞社の人に教わったことは、これからの授業や自分の知識として覚えておきたいです。いろんなことを知れて楽しかったです。もっと新聞のことを知るために自分で調べてみようと思います。来てくれてありがとうございます。

・自分は、神戸新聞社さんの話を聞いて、毎週読んでいる新聞の作り方を知れました。たくさんの時間をかけてより信頼のある記事を作っているんだと感じました。小学生にもわかりやすく説明されていたので理解ができました。新聞情報が早く来る理由はよくわかりませんが、新聞のいいところは、より早く信用のある情報が来ることだと思います。新聞を読むのは好きなので、新聞の裏側が知れて面白かったです。

・新聞のことをもっと調べたし、聞いて楽しかったです！そして新聞のことも詳しくなれたし、途中で楽しめる要素（数が一番多いのを探す）が楽しかったです。そして来てくれた人はわかりやすく簡単にまとめてくれたのもっと楽しかったです。来てくれた人はパワーポイントで作って音楽も途中あったし、みんなも音楽があって多分びっくりしてたと思います。そしてまた来てくれた人とまた話を聞きたいです。そしてまたいろいろな新聞のことをもっと知りたくなってきて新聞の面白さをまた知って面白かったです！

・私は、新聞の読み方やどうやって作られているか全く知りませんでした。分かりやすい説明、写真などでもっとわかりやすくなって新聞のことをいろいろ知ることができてうれしいです。新聞はできた後にのせたいことができたら頑張っていれることもあるけど、何も入れないこともあることがびっくりしました。次は、映像じゃなくて工場や新聞を作るところに行ってみたいなと思いました。（行けないと思うけど）また、話を聞きたいです！

・私は、新聞社の人のお話を聞いて新聞はすべてを読むんじゃなくて見出しを見て気になったところを読むことを知りました。普段あんまり読まないから知りませんでした。そして新聞を作るまでを書いた紙には、たくさんの工程が書かれていてびっくりしました。これを毎日、新聞社の人がしていると思うと、とてもすごいことだなと思いました。また新聞を読んでみようと思います！

・僕は、神戸新聞社の人のお話を聞いて、知らなかったことがいくつかありました。一つ目は、新聞を書くのに時間がかかることです。なぜなら、新聞は、取材をして、記事を書くだけだと思っていたからです。6回の工程でやっと届くのは知りませんでした。二つ目は、深夜のニュースでも、次の日の朝に書かれていてちゃんと新聞が届くということです。発行予定の新聞を書き換えてまた発行するのには時間がかかるので、新聞社の人は大変なんだなと思いました。三つ目は、1時間に18万部刷ることです。いくら機械でも、1時間に18万部も刷るのは難しいと思っていたからです。そんなに紙を刷って機会がオーバーヒートしたり、フリーズしたりしないか心配です。

・僕は今回の勉強で、新聞社から直接お話を聞く経験はとてもいいと思いました。いつもは当たり前毎日届くものだと思っていましたが、毎日毎日こんな大変な思いで作っているなんて夢にも思ってなかったです。

・僕はみよしさんのはなしを聞いて記事にこだわっていることが分かった。もともとこだわっているのかなと思っていたけど予想以上でした。たとえば取材した内容が本当か何度も確かめたり、記事の内容は季節とかでも決めるといっていてこだわっていると思った。最新の情報を見極めて取材するといっていた。取材するときの優先順位はあるのかと思った。疑問に思ったことはどうやって最新の情報を判断するのか気になった。地震とかの危険なところへの取材は誰が行くのかと思った。そういう専門の人がいるのかなと思う。新聞を刷る機械が1時間で18万部も刷れるなんてすごいと思った。

・新聞についてたくさん知りました。教科書で勉強したように、新聞は信頼されて、デマ情報・嘘などはっきり伝えてくれるので良いなと思いました。あと新聞は、毎日出すので、発行する時間が決まっていて、発行する直前にニュースが来たときは載せなきゃいけないから書いていた記事を減らしたりして書いていることがびっくりしました。取材が間違っていたりしたら再取材をするのもびっくりしました。最近みんなインターネットなどを使っているけど、この話を聞いて新聞に興味を持ちました。

・僕は、新聞はもっと作るのに時間がかかっていて、取材が間違っていたらその取材した記事を新聞に掲載しないと思ったけれど、意外にも時間があって、会議や再取材をすることがあるとも初めて知りました。質問で、もし記事選ぶとしたら、記事はとても多いと思うので、その人その人で考えが違うと、選びにくいと思ったからです。もし、ほかの人がある程度会議の前に絞っているのなら、それを知りたいです。

・社会で学習していた新聞についてのことをたくさん知れました。あんまり新聞を見たことがなかったのですごく新鮮でした。やっぱり新聞社で働いている人ははなすのがうまかったなとおもいました。新聞の記事の順番もしっかり考えられているんだなと思いました。新聞記者の人は思ったより大変でびっくりしました。教科書には載っていないこともたくさん話してくれたので勉強になりました。新聞の記事には5W1Hを意識して書いていてびっくりしました。どんな仕事でも英語は大切なんだなと思いました。新聞は信頼度が高いから、できるだけ素早く情報を手に入れているのだと思いました。

・僕は、神戸新聞の人のお話を聞いて、1時間に18万部で1秒に50部印刷するのを聞いて、すごくおどろきました。新聞の作り方もわかりました。

・どうやって正しい情報をとどけるかやその情報をどうやって新聞にのせているかなどがわかりました。また、一人で作っているのではなく役割を決めて新聞を作っていることがわかりました。また、新聞にのせるには when、where、 why、 what、 who、 how をちゃんと新聞にのせる必要がありますとおっしゃっていました。なぜそれをするかという読む人ができるだけたくさんの情報を知ってもらいたいからだそうです。私は、それを聞いて、新聞に関わるお仕事はチームワークが大切だなと思いました。おどろいたことは、1 時間に 18 万部も作れるなんてすごいなと思いました。また、雨の日は新聞を一つ一つ包んで新聞がぬれないようにしているといっていました。時間がギリギリなのにかかわらずそれだけ大切に新聞をとどけているのだなと思いました。

・ぼくは新聞のことを全く知らず知る興味もありませんでした。でも神戸新聞の人が来てくれてやっと新聞のことを知ろうと思いました。そして新聞のことを知れると思いやってみたらどんどん興味がわいてきました。新聞とは事件やノーベル賞のこと、政治、広告などのものがありました。そして新聞は色々なことを知れるということがあり、興味がなかったのがとても興味がわいてきました。新聞はお金やたまっていくので良いとは思っていませんでした。でもちゃんとその人に取材、まとめて、印刷して配達しているので、ちゃんと本当なことを言っているという信頼が持てて、お金を使いたまっていくのも悪くないなと思いました。あと最新情報が朝にはもう届いているということはすぐにわかるので新聞も悪くはないなと思いました。だから、たくさん情報をしれるのでテレビだけじゃなくて新聞にも頼っていきたいです。なので、どんどん情報が知りたいです。

・一番驚いたのは記事が逆三角形の構成で書かれていることです。大切のことから書くことで、忙しい人でもすぐに内容がわかる工夫がされていると知って、国語の作文などでも生かしたいなと思いました。また見出し一つで印象が大きく変わることも学び、言葉の重要性を感じました。ネットにはたくさんの情報があるけど、新聞社では何人もの人が情報をチェックし、正しい情報を届けるために責任をもっていることを学びました。これからの情報は鵜呑みにせず新聞などの信頼できる情報源で確かめる習慣をつけたいです。見出しの付け方や写真の選び方など読者に伝えるための工夫が詰まっていることに感動しました。「大切なことから伝える」ということをこれからの学習に役立てていきたいです。

・新聞社の人の説明、とても聞きやすかったです！ 新聞を作るうえでの課題や、伝えたいことがわかりました。新聞はたくさんの手間やチェックをしているからこそ、わかりやすく、正確な情報を届けられるんだなと思いました。でも事件や事故が起こってもその翌日には新聞に記事が載せられるというのもすごいなと思いました。チームワークがあるからこそできることでもあると思います。1枚の中の、小さい区画でも伝えたいことをしっかり伝えられるということもすごいです！ たくさんの情報を毎日伝えてくださる新聞社の方たちには感謝です。

・私は新聞会社の人の話を聞いて、新聞を作るために正確で重要な内容を集めていることを知って大変だと思いました。特に正確な内容を集めるために、いろんなところまで取材しに行くところです。あとすごいと思ったところは1時間に18万部を印刷できるところと、毎日会議をして朝刊や夕刊を作っているところです。あと新聞社はたくさんの手間をかけて自分たちのところに、新聞が届くようになっていてと知って、ありがたいと思いました。青森の地震も夜の11時くらいで、朝刊を届けるまでの時間もすくないのに記事に入れるということがすごいと思いました。

・ぼくは、こども新聞を、読んでいたけど神戸新聞では、とても大事なことを、表紙にするということが、わかりました。新聞を作るときは、まず、取材、記事作成、編集会議を、するということが、わかりました。

・私は新聞会社の人の話を聞いて1時間で18万部も新聞を印刷していることに驚きました。それほど新聞が必要な社会なんだなと思いました。私が特にすごいなと思ったのは新聞の記事の内容を自分たちで考えて書いていることです。インタビューから初めて新聞が出来上がるまでの工程が手間もかかるし、時間もかかるのに新聞が出来てるからきっとたくさんの人がすごく頑張ってくれたんだろうなと思いました。みんなが知りたい情報などがすぐ新聞会社など入ってくるので便利だろうなと思いました。その情報が正しいかどうか判断するのも難しそうだなと思いました。新聞会社の人の話を聞いて今まで以上に新聞への感謝の気持ちが強まりました。

• Mrs.GreenApple の「darling(ダーリン)」は、孤独や愛情を描いて作られた作品で、こんな意味があるんだな、ということが分かりました。新聞は、トップニュースを大きく書くということがよくわかったし、神戸新聞社の人の話を聞いて、より正確でみんなが見て面白いと思うようなネタが大切なんだな、ということが分かりました。あと、私が一番びっくりしたことは、新聞をほとんど毎日作っているからです。理由は、ネタを探すだけでも大変なのに、それを書いて印刷したり、みんなのもとに配ったりするからです。この学習をして、新聞作ることすごく難しいということがよく分かりました。質問なんですけど、もしその日に作り終えなかったらどうしますか？